

議題「地球温暖化を防止する、または対応していくためにはどうすればいいか」

各グループ最終発表（1人3票投票 計19名、57票）

【Aグループ】

- ①回収拠点・種類を増やす 6票
- ②空間の共有(エアコン使用量を減らす) 4票
- ③エコな行動のポイント化 6票

(補足)

- ①衣類やペットボトルなど、リサイクルできる製品の種類や回収拠点を増やす。
- ②人が集まるスペースを作ったり、外出をすることで家でのエアコン使用量を減らす。
- ③エコな行動をポイント化し利用できるようにすることで意識の啓発になる。

【Bグループ】

- ①創エネ・省エネ・リサイクル(3R) 2票
- ②技術開発導入への支援 4票
- ③環境教育・情操教育 8票

(補足)

- ①再生可能エネルギー、日常的な節電、ゴミの分別、食ロスを推進する。
- ②技術革新を促すためには国や行政の、技術や資金支援が必要。
- ③大人になってからでは考えを変えにくいいため、幼少時代からの教育が必要であり、かつ大人になってからも教育を受ける機会が必要である。

【Cグループ】

- ①「エネルギーを減らそう！」という気持ち→意識改革→製品の普及 2票
- ②ハワイ化計画。服装、行動時間帯を変える。 4票
- ③緑化の効果の数値化(見える化) 6票

(補足)

- ①1人1人の気持ち、人々の意識が変わることで、脱炭素に貢献する製品の普及につながる。
- ②夏は涼しく、冬は暖かい格好で。空調の使用頻度を減らすために朝方、夜型勤務へのシフト。
- ③緑の遮熱効果を利用する。

【Dグループ】

- ①自然と行える仕組みを作る 9票
- ②見える化 5票
- ③足るを知る 1票

(補足)

- ①国や行政による仕組みの構築、法整備、義務化など。
- ②地域別、建物別、機械別など、二酸化炭素排出量の見える化を進めて削減目標を立てる。
- ③無駄をなくす。本当に必要かどうか考え余計に作らない。買わない。